

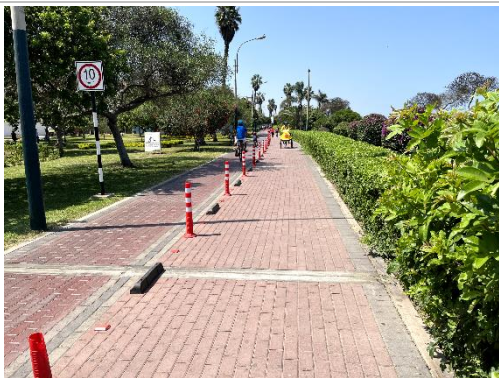
プロジェクト・ニュース（2023 年 4 月）

タイトル：リマのジョギングロード

プロジェクト一般概要：<https://www.jica.go.jp/project/peru/008/outline/index.html>

リマ市民は日本人以上にフィットネスに熱心で、特に週末にはジョギングロードに溢れんばかりのランナーが繰り出して走っている。特に COVID-19 禍が明けた後にその熱が増しているようだ。リマ市もそんな住民の熱意に応え、着々とジョギングロードやサイクリングロードを延長している。今回は、ある週末の海岸沿いのジョギングロードの様子を紹介する。

ジョギングロードの始点はプロジェクトのカウンターパート機関である SERFOR（森林野生動物庁）や MINAM（環境省）から 1 キロメートル程離れた La Pera del Amor 公園付近。この辺りは COVID-19 の流行期以降に建設された新しいジョギングロードで、サイクリングロードと並行して綺麗に整備された道が続いている。1 キロメートル程走ると、こちらにも新しく架けられた人・自転車用の立派な陸橋を渡る。



サイクリングロードと並走するジョギングロード



人・自転車用の陸橋

陸橋を渡ると海岸沿いに 4 キロメートルほど断続的に細長く伸びる公園に入る。ここはいつでも、広場でくつろぐ人、犬の散歩をしている人、サーフボードを担いだ人など、多くの人達でにぎわっている。スケートボード用の競技場もある。もちろんランナーも大勢おり、それぞれ様々なペースで走っている。



太平洋を一望する公園



スケートボード用の競技場

公園の途中に Larcomar というショッピングモールがある。ここは観光客にも人気で、各種ブランド店や太平洋を眺望できるレストランなどがひしめいている。

ところで本プロジェクトの対象地域はアマゾン熱帯雨林であるが、対照的にリマを含む太平洋岸は砂漠気候であり、本来植物の育たない条件である。これは主に、貿易風が東から西へ吹く際にアマゾンの湿気がアンデス山脈にぶつかって雨となって落ち、太平洋岸には乾燥した空気が吹き降ろすことによる。また太平洋岸を流れるフンボルト海流が南極から流れてくる寒流であるために水蒸気が少ないという理由も挙げられる。しかしリマ市民はスプリンクラーや散水車によってこまめに水をやって公園やジョギングロード沿いの緑を潤しており、少しでも快適な環境を確保しようとしている。



Larcomar

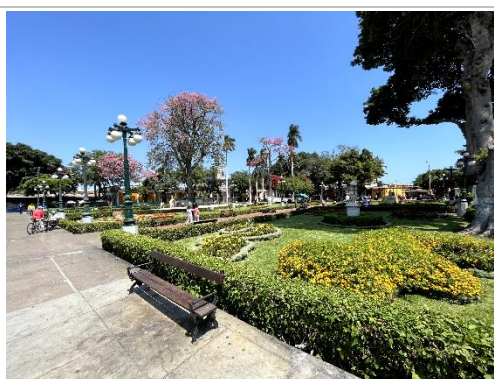


芝生に散水している様子

総延長 6 キロメートル余りにおよぶジョギングロードは、おしゃれな店やレストランが立ち並ぶ Barranco 区の手前まで続く。ここまで走って来たらまた元の道を走って引き返すのも良し、Barranco に繰り出すのも良し。楽しい週末をどうぞ。



潮風が心地よい



Barranco の公園



今回紹介したジョギングロードの概要